

## 活動概要（児童の栽培体験学習）

周南市立沼城小学校

### 1 概要

須々万中校区3校でタマネギ、黒豆を植えることで作物を育てようとする意欲や関心を高めるとともに、須々万中学校校区のつながりが深まるようにする。

### 2 参加校

沼城小学校児童 須磨小学校児童 須々万中学校生徒

### 3 活動の状況

タマネギ、黒豆の苗植え・収穫の時期に児童、生徒が栽培体験学習を行う。

#### （1） 6月 タマネギの収穫

昨年の11月、ふれあい農園に全校で植えたタマネギの収穫をした。児童は葉を引っ張ったり土を掘ったりして収穫作業を楽しむとともに、地域の方の手ほどきを受けたり、中学生ともかかわったりしながら協働する喜びを感じていた。



#### （2） 6月 黒豆苗の植栽

「黒豆保存会」の協力のもと、マルチの敷設などの準備や黒豆栽培についてのレクチャーをしていただき、いよいよ地域の特産物である黒豆栽培に取り掛かった。植栽では、一粒一粒ていねいに植える児童の姿が印象的であった。



黒豆の収穫作業は縦割り班で取り組んだ。協力して作業する喜びを分かち合う様子が見受けられ、縦のつながりを深める良い機会にもなった。収穫した黒豆は、すぐさま「黒豆保存会」の方がおいしく茹でてくださり、児童は自分たちが育てた黒豆の味を堪能していた。



#### 4 活動の成果と課題

子どもたちにとって貴重な体験学習となった。地域の方や異学年交流が進んだことは、コロナ禍による人的交流が停滞したここ2年間では大きな成果であったといえる。また、地域の特産物に焦点化し、栽培活動に取り組んだことも、地域に目を向ける良い機会になったと考えられる。

今後の課題は、特産物である黒豆の栽培はもとより、黒豆の加工品づくりや、黒豆をモチーフにした商品開発を手掛けるなどして、特産物の黒豆を広くPRし、まちづくり・まちおこしにつなげることである。地域のさらなる活性化のため、これからも地域への愛着を育てるような体験活動を仕組んでいきたい。